

科目名	ポートフォリオ制作							年度	2026
英語科目名	Portfolio Creation							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	藤原祥子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		CMFデザイナー		
【科目の目的】 就職活動用に、自分自身をアピールするための作品集を制作する。									
【科目の概要】 1～2年次のまとめとしてポートフォリオ制作を行う。就職活動を前提としたプレゼンテーションツールとして制作を進める。この授業に主体的に参加することでデザイナーとして会社に貢献する意識を高めることを目指す。									
【到達目標】 デザイン科共通のスキルとして以下のことを目標としている。①自分の課題成果をわかりやすくまとめること。②どう見てもらえるかを意識してデザインをすること。③自分の作品から今後の目標を明確にしてやるべきことを具体化すること。									
【授業の注意点】 ポートフォリオ＝プレゼンテーションツールという認識をもってより良い制作をめざしていく。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で今までの課題の振り返りと授業の事前準備をとした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	要望に応える制作技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、制作している	要望に応える制作技術を理解しているが、形として不十分	要望に応える制作技術の理解が不足している				
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分				
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチや内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の修正が不十分	アイデア、デザイン内容の検証、修正が不十分				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題完成度60% 提出課題の完成度を評価する。 リサーチ20% 制作準備と過程を評価する。 相談検証20% 制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ポートフォリオ制作			年度	2026
英語表記		Portfolio Creation			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス 課題スケジュール	ポートフォリオの重要性を理解する	1 就職活動におけるポートフォリオ	ポートフォリオの重要性を理解し、説明出来るようになる	2	
2	企画立案、リサーチ ①	企業研究・自己分析	1 企業研究	受験予定の企業が要求する能力やセンスを理解する	2	
			2 自己分析（性格、作品）	自分の作品の方向性や考え方を客観的に理解する		
3	企画立案、リサーチ ②	ポートフォリオ全体の把握	1 アナログ作業の効率化について	アナログ作業の重要性を理解し、仕事の効率化の計画が出来るようになる	2	
			2 レイアウトについて	レイアウトの良し悪しを判断し、自らの制作に反映することが出来るようになる		
			3 ポートフォリオの全体の構成	総合的な情報をまとめ、ポートフォリオの構成が出来るようになる		
4	デザインラフ、台割 作成①	大まかなアナログによる台割作成	1 台割シート（アナログ） ①	作品洗い出しシートと台割り表の作成ができる 内容の原案を作ることが出来るようになる	2	
5	デザインラフ、台割 作成②	アナログによる台割完成	1 台割シート（アナログ） ②	台割シートを計画的に作成出来るようになる□	2	
6	企画発表	中間発表	1 中間発表	基本的なポートフォリオの構成を発表できる	2	
7	制作準備	PCにて台割シート作成	1 台割シート手順①（P C）	PC作業にて台割シートの作成手順を理解し、実践出来るようになる	2	
			2 台割シート作成②（P C）	PC作業にて台割シートを計画的に作成出来るようになる		
8	デザイン制作①	ポートフォリオ作成①	1 ポートフォリオ製作1	台割シートに沿って制作の手順を組むことが出来るようになる	2	
9	デザイン制作②	ポートフォリオ作成②	1 ポートフォリオ製作2	台割シートに沿ってポートフォリオの構成を組むことが出来るようになる	2	
10	デザイン制作③	ポートフォリオ作成③	1 ポートフォリオ製作3	各科目のポートフォリオページを作ることが出来るようになる	2	
11	デザイン制作④	ポートフォリオ作成④	1 ポートフォリオ製作4	各科目のポートフォリオページを作ることが出来るようになる	2	
12	デザイン制作⑤	ポートフォリオ作成⑤	1 ポートフォリオ製作5	各科目のポートフォリオページを作ることが出来るようになる	2	
13	デザイン制作⑥	ポートフォリオ作成⑥	1 ポートフォリオ製作6	各科目のポートフォリオページを作ることが出来るようになる	2	
14	デザイン制作⑦	ポートフォリオ作成⑦	1 スケジュール管理	ポートフォリオ制作最終日<提出>スケジュール計画を遵守することが出来る	2	
			2 ポートフォリオの完成	納期までにポートフォリオを完成、提出が出来る		
15	プレゼンテーション、 授業のまとめ	ポートフォリオ発表	1 プレゼンテーション	制作物において人を惹きつけるプレゼンテーションが出来るようになる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等